



はじめに

平成28年は、4月に発生した熊本県熊本地方を震源とする地震（平成28年熊本地震）のほか、6月から8月にかけての大雨や相次ぐ台風の来襲により、死傷者を伴う大きな被害が発生したことから、警察では、救出救助活動や安否不明者の捜索活動等所要の警察活動を実施しました。

また、5月に伊勢志摩サミットが開催されるとともに、4月から9月にかけて10の関係閣僚会合が全国各地で開催されましたが、厳しい国際テロ情勢等がある中、全国警察を挙げて警備諸対策を推進し、開催国としての治安責任を果たしております。

国際テロ情勢は、世界各地で I S I L^(注) 等によるテロが依然として発生しており、3月のベルギー・ブリュッセルにおける連続テロ事件及び7月のバングラデシュ・ダッカにおける襲撃テロ事件においては、邦人が被害に遭いました。

このほか、我が国をめぐる国際情勢としては、北朝鮮が核実験及びミサイル発射を立て続けに行っており、また中国は、尖閣諸島周辺に公船等を派遣して領海侵入等を繰り返すなど、海洋進出の動きを活発化させています。

国内では、右翼が領土問題等を捉えて活発な抗議活動に取り組み、極左暴力集団は、反原発運動や反戦・反基地運動等の取組を通じて組織の維持・拡大を図っています。

サイバー攻撃情勢については、先端技術や機密情報の窃取を目的として行われるサイバーインテリジェンス事案が頻発するなど、国際的な重要課題となっています。

警察では、こうした治安情勢に的確に対応し、テロ等重大事案を未然に防止して公安の維持を図るため、違法行為の取締り、関連情報の収集・分析等に継続して取り組んでいますが、32年に開催される東京オリンピック・パラリンピック競技大会等も見据えて、今後とも各種対策を総力を挙げて推進していきます。

(注) : Islamic State of Iraq and the Levantの頭字語

※ 揭載内容は、特に記載のある場合を除いて、平成28年12月末現在のものです。

※ 「焦点」は、警察庁ウェブサイトにも掲載しています（<http://www.npa.go.jp/keibi/index.htm>）。